

中部地方整備局事業評価監視委員会（平成 27 年度第 3 回）

議 事 概 要

1. 日 時 平成 27 年 12 月 3 日（木） 10：00～12：00

2. 場 所 KKR ホテル名古屋 3 階蘭の間

3. 出席者

○事業評価監視委員

八嶋委員長、大野副委員長、中村（浩）委員、葛葉委員、
柄谷委員、中村（英）委員、森委員

○中部地方整備局

茅野局長、守屋副局長、大野副局長、総務部長、企画部長、建政部長、
河川部長、道路部長、営繕部長、用地部長、水資源機構中部支社長

4. 議事

1) 対象事業の説明・審議

（再評価）

【河川事業】

狩野川総合水系環境整備事業
天竜川総合水系環境整備事業
駿河海岸直轄海岸保全施設整備事業
木曾川水系連絡導水路事業

【道路事業】

一般国道 23 号 豊橋東バイパス
一般国道 23 号 豊橋バイパス
一般国道 23 号 岡崎バイパス
一般国道 23 号 蒲郡バイパス
一般国道 414 号 伊豆縦貫自動車道 天城北道路

（事後評価）

【道路事業】

一般国道 21 号 新太田橋拡幅
一般国道 153 号 足助バイパス

（報告）

【河川事業】

宮川直轄河川改修事業
宮川総合水系環境整備事業

5. 配布資料

- ・ 委員会開催資料（議事次第、配付資料一覧、委員出席者名簿、配席図）
- ・ 資料 1 再評価に係る県知事等意見
- ・ 資料 2-1 対応方針一覧表
- ・ 資料 2-2 一括審議案件に対する意見等について
- ・ 資料 3 一般国道 23 号 豊橋東バイパス 説明資料
- ・ 資料 4 一般国道 23 号 豊橋バイパス 説明資料
- ・ 資料 5 一般国道 23 号 岡崎バイパス 説明資料
- ・ 資料 6 狩野川総合水系環境整備事業 説明資料
- ・ 資料 7 天竜川総合水系環境整備事業 説明資料
- ・ 資料 8 駿河海岸直轄海岸保全施設整備事業 説明資料
- ・ 資料 9 木曾川水系連絡導水路事業 説明資料
- ・ 資料 10 一般国道 414 号 伊豆縦貫自動車道 天城北道路 説明資料
- ・ 資料 11 一般国道 23 号 蒲郡バイパス 説明資料
- ・ 資料 12 一般国道 21 号 新太田橋拡幅 説明資料
- ・ 資料 13 一般国道 153 号 足助バイパス 説明資料
- ・ 資料 14 宮川直轄河川改修事業、宮川直轄河川改修事業 説明資料
- ・ 資料 15-1 再評価に係る資料【河川関係】
 - 狩野川総合水系環境整備事業
 - 天竜川総合水系環境整備事業
 - 駿河海岸直轄海岸保全施設整備事業
- ・ 資料 15-2 再評価に係る資料【河川関係（水資源機構事業）】
 - 木曾川水系連絡導水路事業
- ・ 資料 16 再評価に係る資料【道路関係】
- ・ 資料 17 事後評価に係る資料【道路関係】
- ・ 資料 18 報告に係る資料【河川関係】

6. 主な審議結果等

1) 再評価対応方針（原案）については以下のとおりとする。

【河川事業】

- 狩野川総合水系環境整備事業 . . . 了承
- 天竜川総合水系環境整備事業 . . . 了承
- 駿河海岸直轄海岸保全施設整備事業 . . . 了承
- 木曾川水系連絡導水路事業 . . . 了承

【道路事業】

- 一般国道 23 号 豊橋東バイパス . . . 了承
- 一般国道 23 号 豊橋バイパス . . . 了承
- 一般国道 23 号 岡崎バイパス . . . 了承
- 一般国道 23 号 蒲郡バイパス . . . 了承
- 一般国道 414 号 伊豆縦貫自動車道 天城北道路 . . . 了承

2) 事後評価対応方針（案）については以下のとおりとする。

【道路事業】

- 一般国道 21 号 新太田橋拡幅 . . . 了承
- 一般国道 153 号 足助バイパス . . . 了承

2) 委員より出された意見・質問及び回答

項目	意見質問	回答
<p>(一括審議) ○一般国道23号 豊橋東バイパス ○一般国道23号 豊橋バイパス ○一般国道23号 岡崎バイパス</p>	<p>意見なし</p>	
<p>○狩野川総合水系 環境整備事業</p>	<p>柿田川の湧水は、その水に特化した貴重な植物や動物が生息する極めて貴重な自然であり、今の状態を後世に残すことでその価値は益々高くなるので、整備にあたっては十分慎重に進めてほしい。</p> <p>資料6P.7について、整備の必要性として「河川防災ステーションが整備予定」という記載があり、安全面とそれを促すような水辺の環境面の整備が必要と読みとれるが、P12(2)費用対効果分析①の総便益(B)には、安全面と環境面の整備の両方が含まれているのか。</p> <p>資料6P.12について、塚本地区の水辺整備事業の整備期間は平成28年度～30年度と書いてあるが、事業自体は平成33年完了予定となっているのはなぜか。</p> <p>今回新たに追加された塚本地区水辺整備事業は単独の事業であるような気がするが、事業評価における区分けについてどのように設定されているのか。</p>	<p>水辺にふれあえるという環境面の便益のみ積み上げています。</p> <p>整備期間は平成28年度～30年度であり、その後モニタリング期間を設けています。</p> <p>総合水系環境整備事業は水系としての管理が必要であることから、新たな箇所が追加となった場合、その箇所も含めた水系全体として評価しています。</p>
<p>○天竜川総合水系 環境整備事業</p>	<p>「総合」の考え方について、資料7P.13ではB/Cが1.1～7.4までの幅があり、天竜川自然再生事業、西鹿島水辺整備事業は低めだが、これらの差の根拠について教えてほしい。</p>	<p>支払い意志額は概ね横ばいなので、受益範囲が異なることで便益の値が変わり、コストは箇所によって異なるので、それらが影響してB/Cの値に差が生じています。</p>
<p>○狩野川総合水系 環境整備事業 ○天竜川総合水系 環境整備事業 (共通)</p>	<p>「総合」の意味合いとして、複数箇所で整備した場合の相乗効果など評価しないのか。</p> <p>今後の課題として、個々の地区のB/Cの平均を水系全体のB/Cとするのは、それぞれの相互作用により出てくる効果もあるので、少し飛躍があると思う。</p> <p>個々の地区のB/Cと相乗効果を含めた水系全体のB/Cの考え方を少し検討していただけないか。</p>	<p>ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>

<p>○駿河海岸直轄海岸保全施設整備事業</p>	<p>南海トラフ地震の対応を本地区で既存のインフラに追加していく事は素晴らしい。人命が守られる、もしくは人命を守るためのリードタイムを稼ぐことが重要であるため、これらを今回の評価で取り入れたことは大きな一歩である。</p> <p>静岡県では、静岡モデルとして地域の実情を踏まえたきめ細やかな津波対策を進めようとしているため、市町・県との調整をしっかりとお願いしたい。また、リードタイムが何分稼げるのか等の評価については、避難する地域の方々に対して、前向きなメッセージとして、かつ、安心情報とならないようにきちんと伝える事が重要である。</p> <p>今回提案されている粘り強い堤防の整備内容は市町と調整を図るとされているが、全体事業費の増額が約30億円と算出されている。その根拠について説明して頂きたい。</p> <p>資料として国交省は「L1津波を超える津波」と表記してあるが、首長意見は「L2津波」と表記してあり、同じ資料の中に違う表現であるが、国交省として敢えて「L2津波」と表現しない理由について説明願いたい。</p> <p>今回整備する粘り強い構造というのはコンクリートを厚くする対策なのか。</p>	<p>基本は資料8P.9に示している構造により事業費を算出しています。</p> <p>今回追加する粘り強い構造の堤防の整備は、海岸保全施設の整備目標である「L1津波」を超える津波に対して施設の機能を粘り強く発揮させるための整備であることから、このような表現としています。</p> <p>津波が越流した場合でも既存施設の流出を抑制させるため天端保護工及び裏法被覆工のコンクリートを厚くするとともに、裏法尻部の洗掘対策として基礎工を強固な構造に改良します。</p>
<p>○木曾川水系連絡導水路事業</p>	<p>意見なし</p>	
<p>○一般国道414号伊豆縦貫自動車道天城北道路</p>	<p>両事業とも大変重要な事業なので、早く進捗して頂きたい。</p> <p>耐震基準の見直し、地質の相違、軟弱地盤など必要なものは増額しなければならない事は理解できる。一方、当初想定していなかった対策が必要になってきた事を今後の事業にフィードバックして、どのように取り組んでくのかご意見を伺いたい。</p>	<p>特に地質に関しては、事業化する前は従前の施行実績、文献調査などにより地質の想定をしておき、事業化後に用地買収を行ったうえで実際の橋梁下部工位置等でボーリング調査を実施している流れとなっています。</p> <p>したがって、事業化前の段階での予測には限界がありますが、今までの事業費増の案件等を踏まえ、今後は当初からどこまでリスクを見込むべきか等、よく勉強して対応していきたいと思えます。</p>
<p>○一般国道23号蒲郡バイパス</p>	<p>意見なし</p>	
<p>○一般国道21号新太田橋拡幅</p>	<p>意見なし</p>	

<p>○一般国道153号 足助バイパス</p>	<p>当初意図していた効果よりも高い効果が有った場合、好事例として収集して他の事業に反映していくなどといった取り組みはしているのか。</p> <p>足助バイパスを整備する事によって、直接的な効果だけでなく、旧道も面的に効果を発現している非常に良い例であり、こういった例を集めて紹介して頂きたい。</p>	<p>完了した事業だけでなく、これから行う事業や事業中のものについて、B/Cの議論だけでなく沿線や地域活性化など、どういった波及効果がでるのかについて、取り纏め公表しているところです。</p> <p>本事業についても、当初の目的以上の効果が発生していると認識しており、今後もあらゆる事業で様々な効果を纏めて発信していく予定です。</p>
<p>(報告) ○宮川直轄河川改修事業 ○宮川総合水系環境整備事業</p>	<p>意見なし</p>	